

資 料

1. 調査団員・氏名
2. 調査行程
3. 関係者（面会者）リスト
4. 討議議事録（M/D）
5. ソフトコンポーネント計画書
6. 参考資料
 - 6-1 収集資料リスト
7. その他の資料・情報
 - 7-1 水理計算書
 - 7-2 試掘調査結果（柱状図）

資料 1. 調査団員・氏名

(1) 協力準備調査（平成 23 年 9 月 19 日～平成 24 年 7 月 14 日）

氏名	担当	所属
丸尾 祐治	総括	国際協力機構 客員専門員
白木 秀太郎	計画管理	国際協力機構 地球環境部 水資源第二課
中野 武	業務主任／給水施設計画	国際航業株式会社
篠田 健司	副業務主任／給水施設設計／ 管路設計／運営・維持管理計画	国際航業株式会社
浮島 久幸	水理地質 1／地下水開発計画 1	個人コンサルタント
大鹿 祐介	水理地質 2／地下水開発計画 2	株式会社地球システム科学
今井 梨紗子	環境社会配慮	国際航業株式会社
山本 陽介	環境社会配慮	国際航業株式会社
小川 信一	施工計画／調達計画／積算	国際航業株式会社
田中 正利	試掘管理	国際航業株式会社
菊池 幸祐	業務調整	国際航業株式会社

(2) 概要説明（平成 24 年 11 月 2 日～11 月 10 日）

氏名	担当	所属
丸尾 祐治	総括	国際協力機構 客員専門員
渡邊 利一	協力企画	国際協力機構 地球環境部 水資源第二課
中野 武	業務主任／給水施設計画	国際航業株式会社
篠田 健司	副業務主任／給水施設設計／ 管路設計／運営・維持管理計画	国際航業株式会社

資料 2. 調査行程

(1) 協力準備調査

日付	官側	中野 武	篠田 健司	浮島 久幸	大鹿 祐介	今井 梨紗子	小川 信一	田中 正利	菊池 幸祐
		業務主任/ 給水施設計画	副業務主任/ 給水施設設計/管線設計/ 運営・維持管理計画	水理地質1/ 地下水開発計画1	水理地質2/ 地下水開発計画2	環境社会配慮	施工計画/ 調達計画/積算	試験管理	業務調整
9/19 月			日本発	日本発			日本発		
9/20 火			エチオピア着、JICA表敬	エチオピア着、JICA表敬			エチオピア着、JICA表敬		
9/21 水			AWRDB表敬	AWRDB表敬			AWRDB表敬		
9/22 木			再委託協議	移動、AWRDB表敬			再委託協議		
9/23 金			再委託協議	AWRDB打合せ、移動			再委託協議		
9/24 土			入札準備	資料整理			入札準備		
9/25 日			入札準備	資料整理			入札準備		
9/26 月			再委託協議	再委託協議		日本発	市場調査		
9/27 火			入札	再委託協議		エチオピア着	市場調査		
9/28 水			入札	再委託協議		再委託協議	入札		
9/29 木			再委託協議	再委託協議		再委託協議	市場調査		
9/30 金			再委託協議	再委託協議		再委託協議	市場調査		
10/1 土			再委託協議	国内移動	日本発	再委託協議	市場調査		
10/2 日			資料整理	国内移動	エチオピア着	国内移動	資料整理		
10/3 月			再委託協議	AWRDB協議	JICA表敬	再委託管理(社会調査)	市場調査		
10/4 火			再委託協議	作業準備	再委託協議	再委託管理(社会調査)	市場調査		
10/5 水			国内移動	掘削位置選定	国内移動	再委託管理(社会調査)	国内移動		
10/6 木			現場踏査	掘削位置選定	掘削位置選定	再委託管理(社会調査)	現場踏査		
10/7 金			現場踏査	掘削位置選定	掘削位置選定	再委託管理(社会調査)	現場踏査		
10/8 土			国内移動	国内移動	国内移動	再委託管理(社会調査)	国内移動		
10/9 日	日本発	日本発	エチオピア出国	レポート作成	レポート作成	再委託管理(社会調査)	エチオピア出国		
10/10 月	エチオピア着	エチオピア着	日本着	掘削位置選定	掘削位置選定	再委託管理(社会調査)	日本着		
10/11 火	JICA表敬、移動	JICA表敬、移動		掘削位置選定	掘削位置選定	再委託管理(社会調査)			
10/12 水	AWRDB、BoFED表敬	AWRDB、BoFED表敬		掘削位置選定	掘削位置選定	再委託管理(社会調査)			
10/13 木	現場踏査	現場踏査		掘削位置選定	掘削位置選定	国内移動			
10/14 金	現場踏査	現場踏査		掘削位置選定	掘削位置選定	JICA報告			
10/15 土	現場踏査	現場踏査		レポート作成	レポート作成	レポート作成			
10/16 日	レポート作成	レポート作成		レポート作成	レポート作成	エチオピア出国			
10/17 月	AWRDB、BoFED協議	AWRDB、BoFED協議		再委託管理(物理探査)	既存井戸情報収集	日本着			
10/18 火	協議、M/D署名	協議、M/D署名		再委託管理(物理探査)	既存井戸情報収集				
10/19 水	国内移動	資料整理		現場踏査	既存井戸情報収集				
10/20 木	JICA報告、エチオピア出国	資料整理		現場踏査	既存井戸情報収集				
10/21 金	日本着	AWRDB協議、踏査		再委託管理(物理探査)	既存井戸情報収集				
10/22 土	現場踏査	現場踏査		再委託管理(物理探査)	既存井戸情報収集			日本発	
10/23 日	現場踏査	現場踏査		再委託管理(物理探査)	レポート作成			エチオピア着	
10/24 月	現場踏査	現場踏査		再委託管理(物理探査)	既存井戸情報収集			国内移動	
10/25 火	現場踏査	現場踏査		現場踏査	再委託管理(試掘)			AWRDB表敬	
10/26 水	AWRDB協議	現場踏査		現場踏査	再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
10/27 木	AWRDB協議、移動	現場踏査		現場踏査	再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
10/28 金	JICA報告	レポート作成		レポート作成	再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
10/29 土	エチオピア出国	レポート作成		レポート作成	再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
10/30 日	日本着	国内移動		国内移動	レポート作成			再委託管理(試掘)	
10/31 月		レポート作成		レポート作成	再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/1 火		エチオピア出国		エチオピア出国	再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/2 水		日本着		日本着	再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/3 木					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/4 金					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/5 土					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/6 日					レポート作成			再委託管理(試掘)	
11/7 月					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/8 火					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/9 水					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/10 木					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/11 金					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/12 土					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/13 日					レポート作成			再委託管理(試掘)	
11/14 月					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/15 火					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/16 水					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/17 木					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/18 金					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/19 土					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/20 日					レポート作成			再委託管理(試掘)	
11/21 月					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/22 火					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/23 水					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/24 木					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/25 金					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/26 土					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/27 日					レポート作成			再委託管理(試掘)	
11/28 月					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/29 火					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
11/30 水					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/1 木					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/2 金					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/3 土					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/4 日					レポート作成			再委託管理(試掘)	
12/5 月					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/6 火					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/7 水					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/8 木					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/9 金					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/10 土					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/11 日					レポート作成			再委託管理(試掘)	
12/12 月					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/13 火					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/14 水					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/15 木					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/16 金					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/17 土					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/18 日					レポート作成			再委託管理(試掘)	
12/19 月					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/20 火					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/21 水					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/22 木					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/23 金					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/24 土					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/25 日					レポート作成			再委託管理(試掘)	
12/26 月					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/27 火					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/28 水					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/29 木					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/30 金					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	
12/31 土					再委託管理(試掘)			再委託管理(試掘)	

日付	官側	中野 武	篠田 健司	浮島 久幸	大鹿 祐介	山本 陽介	小川 信一	田中 正利	菊池 幸祐
		業務主任/ 給水施設計画	副業務主任/ 給水施設設計/管線設計/ 運営、維持管理計画	水理地質1/ 地下水開発計画1	水理地質2/ 地下水開発計画2	環境社会配慮	施工計画/ 調達計画/積算	試掘管理	業務調整
1/1	日				レポート作成				
1/2	月				再委託管理(試掘)				
1/3	火				再委託管理(試掘)				
1/4	水				再委託管理(試掘)				
1/5	木				再委託管理(試掘)				
1/6	金				国内移動				
1/7	土				レポート作成				
1/8	日				レポート作成				
1/9	月		日本発	日本発	レポート作成				
1/10	火		エチオピア着、JICA表敬	エチオピア着、JICA表敬	レポート作成				
1/11	水		再委託先協議	再委託先協議	レポート作成				
1/12	木		再委託先協議	国内移動	エチオピア出国				
1/13	金		遺族弔問	AWRDB協議	日本着				
1/14	土		資料整理	再委託管理(試掘)					
1/15	日		資料整理	掘削地点解析					
1/16	月		国内移動	現場踏査					
1/17	火		AWRDB協議	再委託管理(試掘)					
1/18	水		AWRDB協議、現場踏査	AWRDB協議					
1/19	木		現場踏査	再委託管理(試掘)					
1/20	金		現場踏査	再委託管理(物理検査)					
1/21	土		資料整理	現場踏査					
1/22	日		資料整理	再委託管理(試掘)					
1/23	月		AWRDB協議、移動	現場踏査			日本発		
1/24	火		現場踏査	AWRDB協議			エチオピア着		
1/25	水		現場踏査	現場踏査			市場調査		
1/26	木		現場踏査	現場踏査			JICA表敬		
1/27	金		現場踏査	再委託管理(試掘)			市場調査		
1/28	土		現場踏査	再委託管理(試掘)			見積依頼		
1/29	日		現場踏査	現場踏査			資料整理		
1/30	月		現場踏査	再委託管理(試掘)			見積依頼		
1/31	火	日本発	現場踏査	再委託管理(試掘)		日本発	見積依頼		
2/1	水	エチオピア着、JICA表敬	現場踏査	再委託管理(試掘)		エチオピア着、JICA表敬	見積依頼		
2/2	木	再委託先協議	現場踏査	水理地質技術者協議		再委託先協議	見積依頼		
2/3	金	資料整理、移動	現場踏査	再委託管理(試掘)		資料整理、移動	見積依頼、移動		
2/4	土	国内移動	現場踏査	再委託管理(試掘)		国内移動	国内移動		
2/5	日	資料整理	現場踏査	再委託管理(試掘)		現場踏査	現場踏査		
2/6	月	AWRDB協議	現場踏査	AWRDB協議		AWRDB協議	AWRDB協議		
2/7	火	資料整理	現場踏査	資料整理		資料整理	市場調査		
2/8	水	AWRDB協議、現場踏査	現場踏査	資料整理		AWRDB協議、現場踏査	アクセス調査		
2/9	木	現場踏査	現場踏査	資料整理		現場踏査	アクセス調査		
2/10	金	現場踏査	現場踏査	現場踏査		現場踏査	アクセス調査		
2/11	土	日本発	レポート作成	現場踏査	再委託管理(試掘)	レポート作成	見積依頼		
2/12	日	エチオピア着、移動	レポート作成	現場踏査	再委託管理(試掘)	レポート作成	資料整理		
2/13	月	AWRDB協議	AWRDB協議	AWRDB協議	再委託管理(試掘)	AWRDB協議	見積依頼		
2/14	火	AWRDB協議、現場踏査	AWRDB協議、現場踏査	AWRDB協議、現場踏査	再委託管理(試掘)	AWRDB協議	見積依頼		
2/15	水	現場踏査	現場踏査	現場踏査	再委託管理(試掘)	現場踏査	見積依頼		
2/16	木	現場踏査	現場踏査	現場踏査	再委託管理(試掘)	AWRDB協議、移動	見積依頼		
2/17	金	AWRDB協議、M/D署名	AWRDB協議、M/D署名	AWRDB協議、M/D署名	再委託管理(試掘)	再委託先協議	見積回収		
2/18	土	国内移動	国内移動	国内移動	国内移動	資料整理	見積回収		
2/19	日	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理		
2/20	月	JICA報告、エチオピア出国	JICA報告、再委託先協議	JICA報告、再委託先協議	再委託先協議	資料整理	見積回収		
2/21	火	日本着	エチオピア出国	エチオピア出国	エチオピア出国	エチオピア出国	エチオピア出国		
2/22	水		日本着	日本着	日本着	日本着	日本着		
2/23	木								
2/24	金								
2/25	土								
2/26	日								
2/27	月								
2/28	火								
2/29	水								
3/1	木								
3/2	金								
3/3	土								
3/4	日								
3/5	月								
3/6	火								
3/7	水								
3/8	木								
3/9	金								
3/10	土								
3/11	日								
3/12	月								
3/13	火								
3/14	水								
3/15	木								
3/16	金								
3/17	土								
3/18	日								
3/19	月								
3/20	火								
3/21	水								
3/22	木								
3/23	金								
3/24	土								
3/25	日		日本発						日本発
3/26	月		JICA表敬、業者打合せ						JICA表敬、業者打合せ
3/27	火		業者打合せ						業者打合せ
3/28	水		業者打合せ						業者打合せ
3/29	木		業者打合せ						業者打合せ
3/30	金		業者打合せ						業者打合せ
3/31	土		国内移動						国内移動
4/1	日		資料整理						資料整理
4/2	月		AWRDB協議						AWRDB協議
4/3	火		現場踏査						AWRDB協議
4/4	水		現場踏査						現場踏査
4/5	木		現場踏査						国内移動
4/6	金		現場踏査						JICA報告
4/7	土		現場踏査						エチオピア出国
4/8	日		現場踏査						日本着
4/9	月		AWRDB協議						
4/10	火		国内移動	日本発					
4/11	水		業者打合せ	エチオピア着					
4/12	木		JICA報告、出国	JICA表敬、業者打合せ					
4/13	金		日本着						
4/14	土			資料検討					
4/15	日			資料検討					
4/16	月			国内移動					
4/17	火			資料整理					
4/18	水			AWRDB協議					
4/19	木			国内移動					

資料 3. 関係者（面会者）リスト

(1) Amhara Water Resource Development Bureau

Getachew Jember	Bureau Head
Zemene Tsehay Bogale	Depute Bureau Head
Dagnenet Fanta	Water Supply Core Process Owner
Asrat Kassie	Water Engineer
Memgesha Sisay	Geophysist
Dereje Yeshaneh	Hydrogeologist
Berhane Mehari	Socio-economist
Mohammed Onmer	Environmentalist

(2) Amhara Bureau of Finance and Economic Development (BoFED)

Mesfin G/medhin Birru	Deputy Bureau Head
Ayanaw Assaye	Population Core Process Expert
Worku Gashaw	Budget Subsidy Formula Preparation and Administration Office

(3) Water Supply & Sanitation Directorate, Ministry of Water & Energy

Kebede Gerba	State Minister
Yohannes Ghebremedhen	Director

(4) Environment Protection, Land Administration and Use Authority (EPLAUA)

Melisachew Fentie	Expert in EIA Report Review, Auditing &Monitoring
-------------------	---

(5) Woreda Staff

Mertule Maryam

Mekonnene Abebe	Head of Water Supply Service
Guley Dargey	Administrator of Woreda Office
Anbelu Abete	Head of Water Utility Organization
Mekonnell Abebe	Head of Water Supply Board
Temesgen Getenet	Municipality Administrator

Yetimen

Getu Bassie	Head of Woreda Office
Andarjee Tihahun	Yetimen School Director
Aschale Alamerey	Administrator of Woreda Office
Meht Astatek	Vice Administrator of Woreda Office

Keranyo

Mekuriam Meselu	Accountant of Water Committee
Tadese Zewudie	Chairman

Lumame

Teshome Assefaw	Administrator of Woreda Office
-----------------	--------------------------------

Bezia Behailu	Generalist
Dereje Yalew Bimer	Mazegaba Manager
Deguwale Dagne	Health Officer
Tilahun Shiferaw Borebor	Head of Water Resource Development Office
Mulu Alem Anime	Head of Administrator Office
Waltenguse Admasu	Administrator of Kebele Office
Lewudu Gete	D/Administrator of Kebele Office

Wojel

Dereje	Primary School Director / Responsible for Water Affairs
--------	---

Sedie

Tsegaye Adugna	Chairman
----------------	----------

Dibo

Wuletaw Abdela	Member of Water Committee
----------------	---------------------------

Amanuel

Getema Much	Head of Water Office
Molla Eniyew	Electrician
Geknet Kassie	Public relation of Woreda Office

Kuch

Walelign	Municipality Head of Woreda Office
----------	------------------------------------

Gobeze Maryam

Tesfaye	Head of Woreda Water Office
Sefineh	Municipality Office Manager

(6) 在エチオピア日本大使館

大久保 雄大	公使参事官
小森 大育	二等書記官

(7) JICA エチオピア事務所

大田 孝治	所長
晋川 眞	次長
中川 淳史	次長
山下 英志	所員
角 幸康	企画調整員
Ephrem Fufa Leta	In-house Consultant for Water Sector

資料 4. 討議議事録 (M/D)

(1) 討議議事録 (2011 年 10 月 18 日)

**MINUTES OF DISCUSSIONS
ON THE SECOND PREPARATORY SURVEY
ON THE PROJECT FOR SMALL TOWN WATER SUPPLY
IN SOUTHERN PART OF THE AMHARA REGIONAL STATE
IN THE FEDERAL DEMOCRATIC REPUBLIC OF ETHIOPIA**

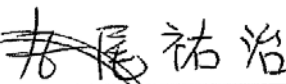
Based on the results of the First Preparatory Survey, the Government of Japan decided to conduct the Second Preparatory Survey on the Project for Small Town Water Supply in Southern Part of the Amhara Regional State (hereinafter referred to as “the Project”) and entrusted the survey to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”).


JICA sent to Ethiopia the Second Preparatory Survey Team (hereinafter referred to as “the Team”) headed by Yuji MARUO, Senior Advisor, JICA, and is scheduled to stay in the country from September 20th 2011 to February 21st 2012.

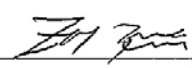
The Team held discussions with the officials concerned of the Government of Ethiopia and conducted a field survey in Amhara Regional State.


In the course of discussions and field survey, both sides confirmed the main items described on the attached sheets. The Team will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.

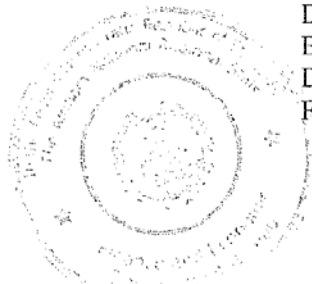
Bahir Dar, October 18th, 2011


Dr. Yuji MARUO
Leader
Second Preparatory Survey Team
Japan International Cooperation Agency




Mr. Zemene Tsehay Bogale
Deputy Bureau Head
Bureau of Water Resource Development,
Amhara Regional State.
Federal Democratic Republic of Ethiopia


Mr. Mesfin G/medhin Birru
Deputy Bureau Head
Bureau of Finance and Economic
Development Amhara Regional State.
Federal Democratic Republic of Ethiopia



1. Objective of the Project

The objective of the project is to improve access to safe water through the development of water supply schemes in small towns of the Amhara Regional State.

2. Target Sites

11 towns which is shown in the Annex-1 was selected as the target for the second preparatory survey based on the result of the first preparatory survey and analysis in Japan.

11 target towns are shown below.

East Gojam Zone (7): Mertule Maryam, Yetimen, Keranyo, Lumame, Wejele, Sadie, Dibo

West Gojam Zone (4): Gonj Kollala, Kuchie, Gebez Maryam, Kunzila

3. Responsible and Implementing Agency

3-1. The Responsible Agency and Implementing Agency is the Water Resources Development Bureau, Amhara Regional State (hereinafter referred to as "AWRDB").

3-2. The organization chart of the implementing agency is shown as Annex-2.

4. Japan's Grant Aid Scheme

4-1. The Ethiopian side understood the Japan's Grant Aid Scheme explained by the Team as described in Annex-3.

4-2. The Ethiopian side will take necessary measures as described in Annex-4 for smooth implementation of the Projects, as a condition for the Japan's Grant Aid to be implemented.

4-3. The Team will report to the Ethiopian side if there are any other undertakings of the Ethiopian side based on the result of this survey.

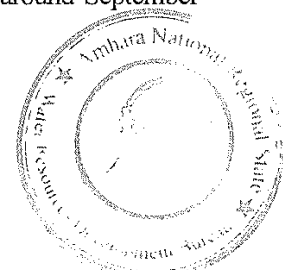
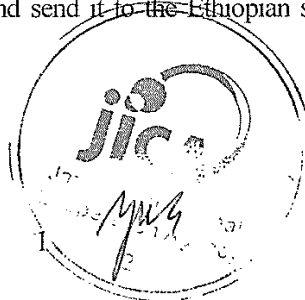
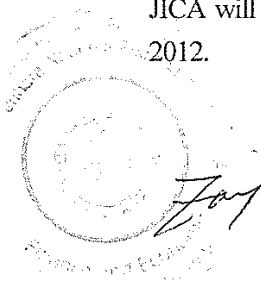
4-4. The Team explained that implementation of the Second Preparatory Survey is not a commitment of the approval of the Project.

5. Schedule of the Survey

5-1. The consultants will proceed to undertake further survey in Ethiopia until the end of February 2012.

5-2. If the Project is found feasible as the result of the Second Preparatory Survey, JICA will prepare the draft report in English and dispatch a mission in order to explain its contents around August 2012.

5-3. In case that the contents of the draft report are accepted in principle by the Ethiopian side, JICA will complete the final report and send it to the Ethiopian side around September 2012.



6. Test Borehole Drillings

The Team explained that the purpose of test borehole drilling is to confirm groundwater availability for the development of water supply schemes in the target sites. Those boreholes which are confirmed with sufficient yield and drinkable water quality will be converted to the production wells in the construction stage. Successful boreholes would be properly protected by the Ethiopian side until the commencement of the construction stage of the Project.

So far up to 23 test boreholes are planned to be drilled as far as survey duration and amount of budget allows. All 11 sites must have at least one test borehole. As for the remaining at most 12 test boreholes, both sides, after having the result of initial 11 test drillings, will discuss each other and put priorities on certain target sites to carry out additional test borehole drillings. The Ethiopian side agreed it.

If the any test boreholes are dry wells or yields insufficient amount, the Team will consult with relevant personnel of AWRDB for their advises what to do with these boreholes, ie to abandon the well or to install the casing and conduct pumping test.

7. Outline Design and Cost Estimation at the Preparatory Survey stage

The Team will make design and estimate the cost at those target sites in which test boreholes are proved to produce sufficient yield for the water supply schemes of the sites.

Those target sites in which test boreholes do not yield necessary amount or do not clear drinking water quality standard of the Ethiopia, the Team will explore springs which locate within the feasible distance for the Project as possible alternative water sources for the water supply scheme.

However, surface water is not considered as the alternative sources in this Project. Those target site in which either yield of borehole or discharge of springs are too small for the water supply scheme would be removed from the Project.

8. Major Contents of the Project at the Implementation stage

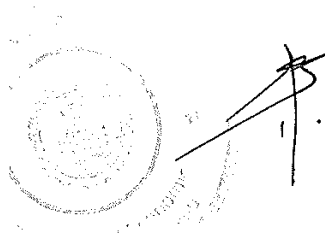
Both sides confirmed that the contents of the Project are as follows;

(1) Construction of water supply schemes

Construction of water supply schemes will be implemented at those sites in which test boreholes proved to produce sufficient yield for the respective water supply schemes.

(2) Human resources development activities (Soft component)

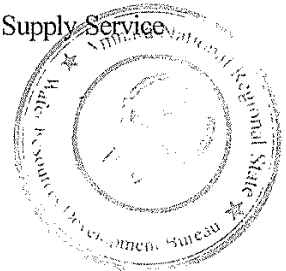
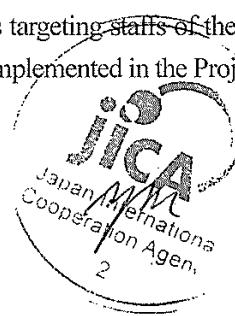
The Project will provide necessary trainings for appropriate operation, maintenance and management of water supply schemes targeting staffs of the Water Supply Service Office (WSSO) which was selected to be implemented in the Project.



Handwritten signature and the number '1'.

Handwritten signature 'Fol'.

Handwritten number '2'.



The final contents of the Project will be presented after the detailed analysis in Japan and will be decided by both sides during the explanation of draft final report.

9. Design Year and Water Coverage

Both sides already confirmed that design year of the Project was set as the year 2015 at the First Preparatory Survey, but the progress of Preparatory Survey has delayed by around one year, therefore, both sides agreed that revised design year would be set as the year 2016.

While making the outline design of the water supply scheme, the team intend to acquire 100% water coverage of projected water demand at the year of 2016 as much as safe yield of test boreholes exceeds the amount of demand. The Ethiopian side agreed with it.

10. Electric Resistivity Prospecting and Siting for Test Borehole

As it was agreed during the First Preparatory Survey, the Team would carry out electric sounding survey and siting for the test borehole drilling in close collaboration with AWRDB. For efficient execution of those works, since the Ethiopian side has got the better knowledge on hydrogeological condition in the sites, the Team requested to the Ethiopian side to always deploy appropriate personnel to work together with the Team during the execution of those works, and the Ethiopian side agreed.

11. Installation of Back Up Generator

The Team explained that in case of motor pump water supply scheme, operation and maintenance (O&M) cost is far cheaper to use the power of commercial grid if it is available than to be driven by generator. So that it is JICA's policy to use the power of commercial grid for the development of water supply schemes as much as possible. However the Ethiopian side requested the Team to install backup generator since blackout is frequent in those areas due to the chronicle power shortage. The Team explained that the Team will investigate present power supply condition and O&M costs in each case at respective target sites, and will assess the appropriateness of the request.

In connection to this, the Team requested to the Ethiopian side that the extension of power line from the existing grid to the newly drilled borehole site must be carried out by the responsibility of the Ethiopian side until the beginning of the construction. And the Ethiopian side agreed.



[Handwritten signature]



12. Undertakings by the Ethiopian side

The Team requested to the Ethiopian side to secure necessary amount of budget and to abide by undertakings listed below for the smooth implementation of the survey and the Project in addition to the major undertakings described in Annex-4.

- (1) To provide the Team with available relevant data, information and materials necessary for the execution of the survey,
- (2) To answer the Questionnaire presented by the Team,
- (3) To ensure the safety and security of the Team,
- (4) To secure any permissions for the Team to take photographs and to enter into private properties and restricted areas for proper execution of the survey,
- (5) To allow the Team to bring back to Japan the necessary data, information, maps and materials related to the survey, in order to prepare the survey reports,
- (6) To assign necessary number of counterpart personnel (C/Ps) with its own expenses to the Team during their stay in Ethiopia to undertake the following activities:
 - To make appointments and set up meetings with relevant authorities wherever the Team intends to visit,
 - To collect the data and information,
 - To conduct site survey,
 - To inspect test drilling and pumping test,
- (7) To secure lot of land necessary for newly constructed facilities including test boreholes, pipelines, distribution reservoirs and public taps,
- (8) To take prompt action for exemption and refund of VAT in coordination with relevant departments,
- (9) To install power line from the existing commercial grid to the new borehole sites before the commencement of the construction,
- (10) To carry out environmental impact assessment (EIA) for the Project, if necessary, and to obtain approval from the relevant Authority until August 2012 and to bear the necessary expenses.
- (11) To establish new WSSOs in the target sites as soon as the implementation stage starts,
- (12) To protect test boreholes which are to be used as production boreholes until the commencement of the construction.

(END)

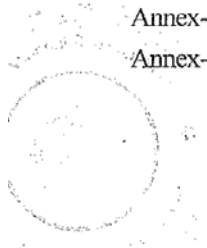
Annex:

Annex-1 Location Map of the Target Site

Annex-2 Organization Chart of the Implementation Agency

Annex-3 Japan's Grant Aid Scheme

Annex-4 Major Undertakings to be taken by Each Government



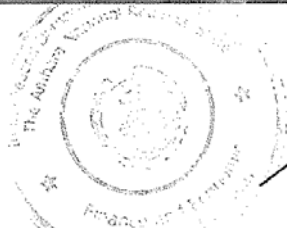
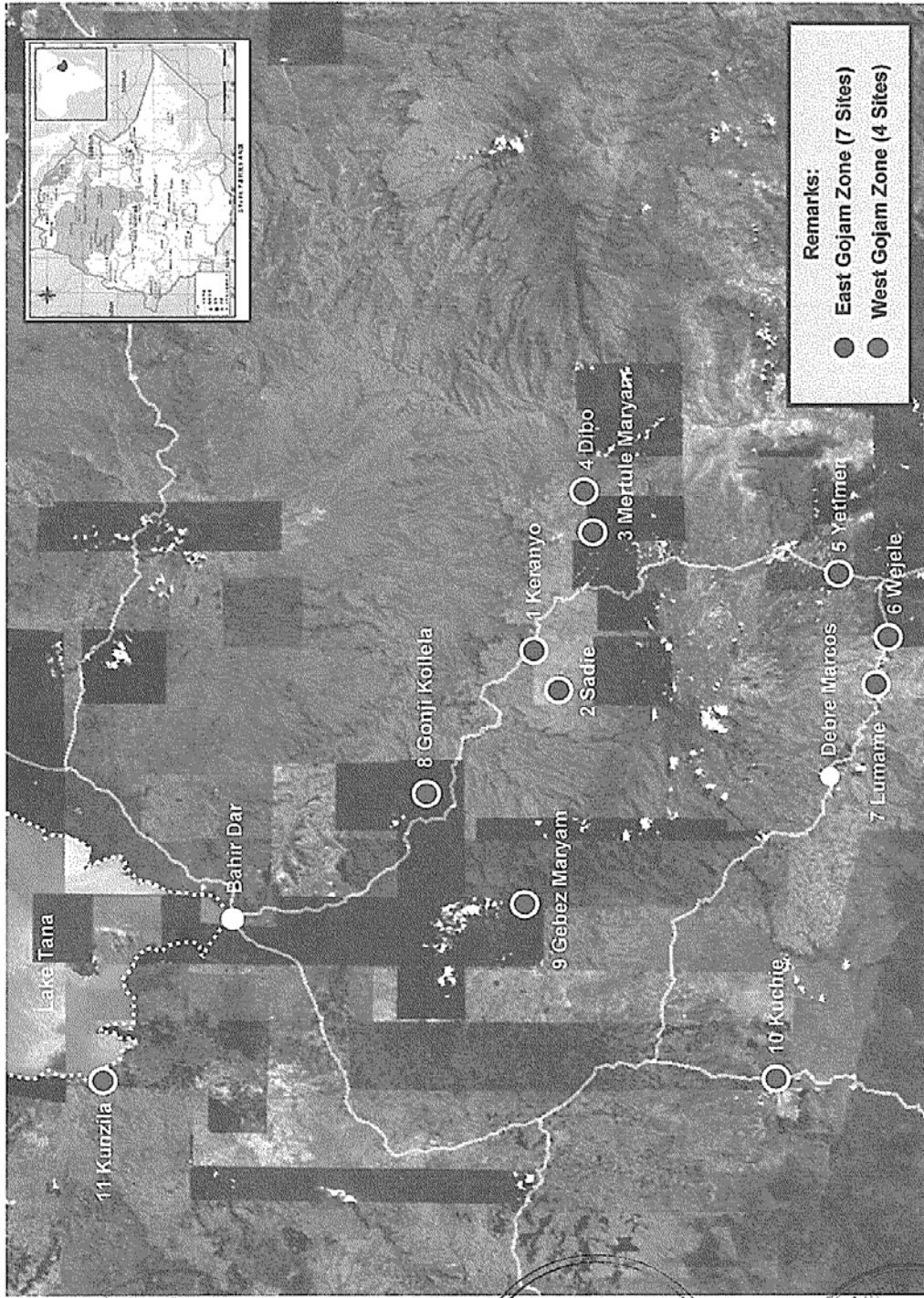
[Handwritten signature]

4

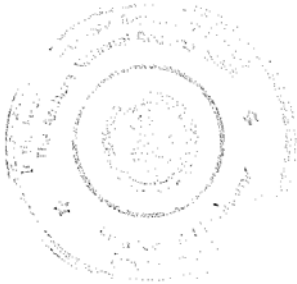


[Handwritten signature]





Location Map of the Project Sites



WRD
Bureau Head
Mr. Getachew Jemberu

Deputy Bureau Head
Mr. Zemene Tsehay Bogale

Water Supply Core Process
Owner
Mr. Dagnenet Fenta
Number of Staff : 45

Irrigation and Drainage Core Process
Owner
Mr. Melesse Sentayehu
Number of Staff : 34

Water Resources Management Core Process
Owner
Mr. Sisay Aseris
Number of Staff : 11

Human Resources
Development
Supporting
Process

Procurement and
Finance and
supply
Supporting

Planning and
Programming
Supporting
Process

Audit Supporting
Process

Public Relations
Supporting
Process

Civil Service
Supporting
Process

[Handwritten signatures]



Annex-2 Organization Chart of the Implementation Agency (Amhara Water Resource Development Bureau)

Japan's Grant Aid Scheme

The Grant Aid Program provides a recipient country with non-reimbursable funds to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for economic and social development of the country under principles in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

1. Grant Aid Procedure

1) Japan's Grant Aid Program is executed through the following procedures.

Application	(Request made by a recipient country)
Survey	(Outline Design Survey conducted by JICA)
Appraisal & Approval	(Appraisal by the Government of Japan and Approval by Cabinet)
Determination of Implementation	(The Notes exchanged between the Governments of Japan and the recipient country)

2) Firstly, the application or request for a Grant Aid project submitted by a recipient country is examined by the Government of Japan (the Ministry of Foreign Affairs) to determine whether or not it is eligible for Grant Aid. If the request is deemed appropriate, the Government of Japan assigns JICA to conduct a survey on the request. If necessary, JICA send a Preparatory Survey Team to the recipient country to confirm the contents of the request.

Secondly, JICA conducts the survey (Outline Design Survey), using Japanese consulting firms.

Thirdly, the Government of Japan appraises the project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid Programme, based on the Outline Design Survey report prepared by JICA, and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the project, once approved by the Cabinet, becomes official with the Exchange of Notes signed by the Governments of Japan and the recipient country.

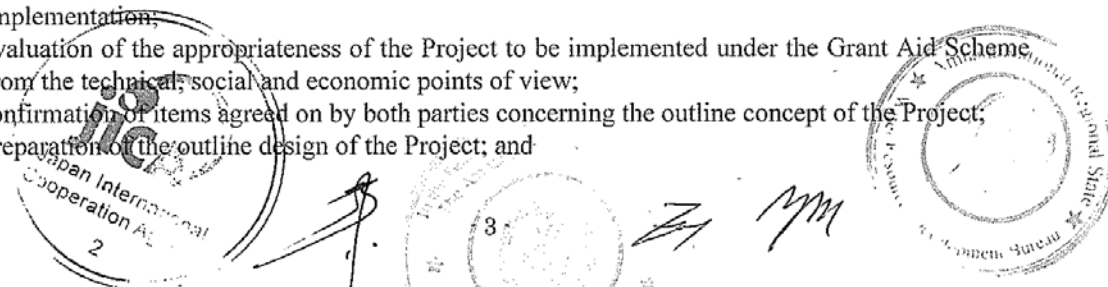
Finally, for the implementation of the project, JICA assists the recipient country in such matters as preparing tenders, contracts and so on.

2. Outline Design Survey

1) Contents of the Survey

The aim of the Outline Design Survey (hereinafter referred to as "the Survey"), conducted by JICA on a requested project (hereinafter referred to as "the Project"), is to provide a outline document necessary for the appraisal of the Project by the Government of Japan. The contents of the Survey are as follows:

- a) confirmation of the background, objectives and benefits of the Project and also institutional capacity of agencies concerned of the recipient country necessary for the Project's implementation;
- b) evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme, from the technical, social and economic points of view;
- c) confirmation of items agreed on by both parties concerning the outline concept of the Project;
- d) preparation of the outline design of the Project; and



e) estimation of costs of the Project.

The contents of the original request are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Outline Design of the Project is confirmed considering the guidelines of Japan's Grant Aid Scheme.

The Government of Japan requests the Government of the recipient country to take whatever measures are necessary to ensure its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even through they may fall outside of the jurisdiction of the organization in the recipient country actually implementing the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country through the Minutes of Discussions.

2) Selection of Consultants

For the smooth implementation of the Survey, JICA uses a consulting firm selected through its own procedure (competitive proposal). The selected firm participates the Survey and prepares a report based upon the terms of reference set by JICA.

At the beginning of implementation after the Exchange of Notes, for the services of the Detailed Design and Construction Supervision of the Project, JICA recommends the same consulting firm which participated in the Survey to the recipient country, in order to maintain the technical consistency between the Outline Design and Detailed Design as well as to avoid any undue delay caused by the selection of a new consulting firm.

3. Japan's Grant Aid Scheme

1) Exchange of Notes (E/N)

Japan's Grant Aid is extended in accordance with the Notes exchanged by the two Governments concerned, in which the objectives of the project, period of execution, conditions and amount of the Grant Aid, etc., are confirmed.

2) "The period of the Grant" means the one fiscal year which the Cabinet approves the project for. Within the fiscal year, all procedure such as exchanging of the Notes, concluding contracts with consulting firms and contractors and final payment to them must be completed.

However, in case of delays in delivery, installation or construction due to unforeseen factors such as weather, the period of the Grant Aid can be further extended for a maximum of one fiscal year at most by mutual agreement between the two Governments.

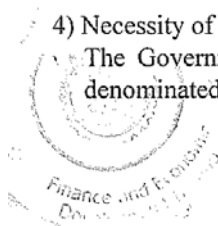
3) Under the Grant, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased.

When the two Governments deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the products or services of a third country.

However, the prime contractors, namely consulting, contracting and procurement firms, are limited to "Japanese nationals". (The term "Japanese nationals" means persons of Japanese nationality or Japanese corporations controlled by persons of Japanese nationality.)

4) Necessity of "Verification"

The Government of the recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by the



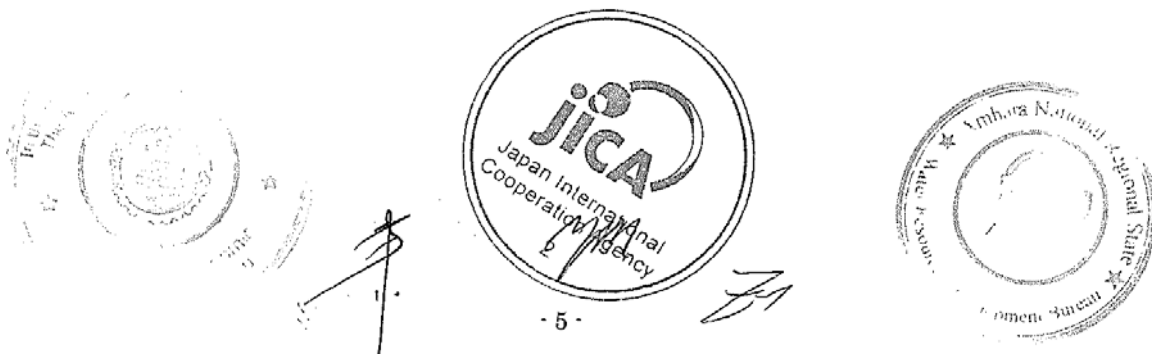
[Handwritten signature]

[Handwritten signature]

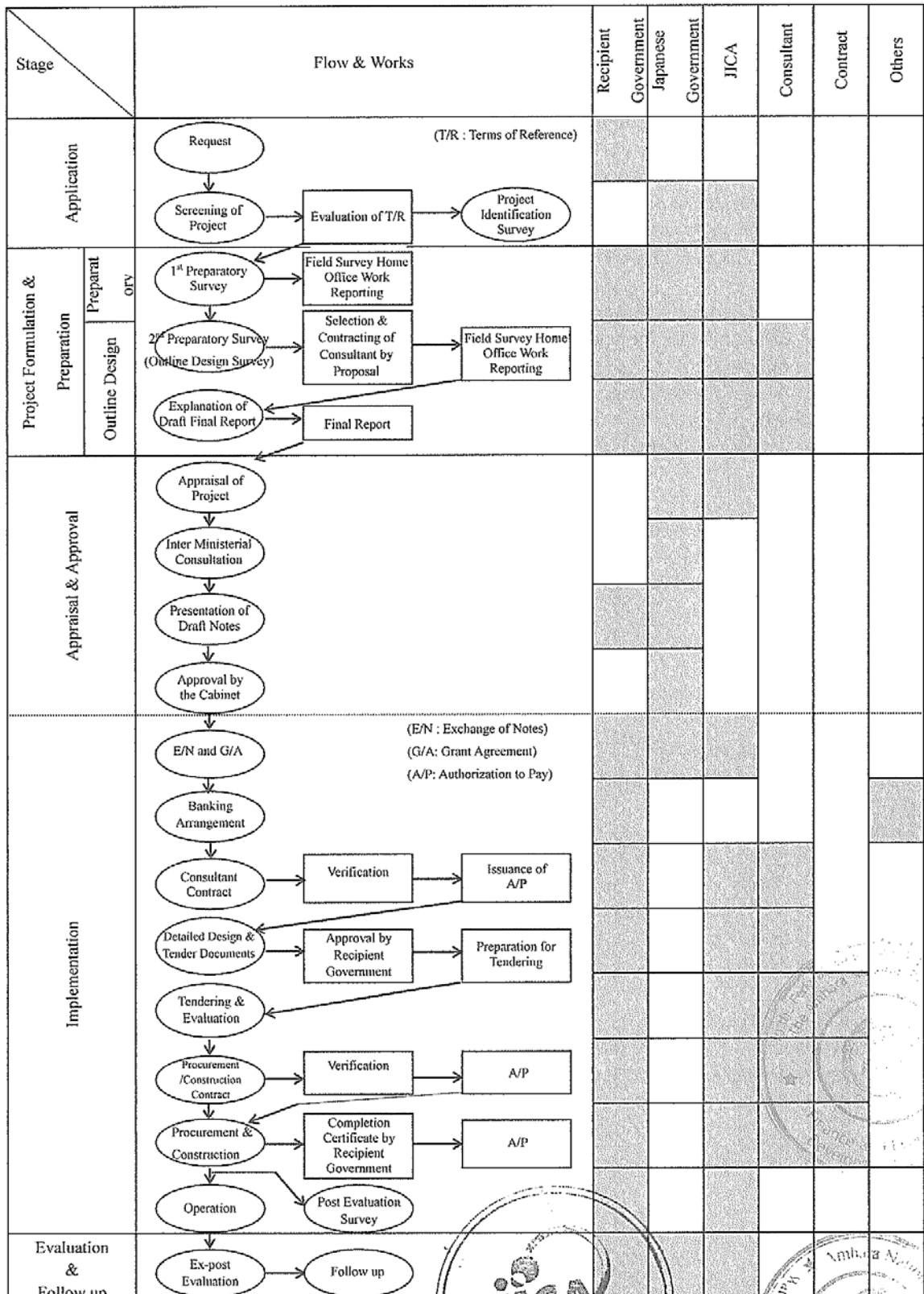


Government of Japan. This "Verification" is deemed necessary to secure accountability of Japanese taxpayers.

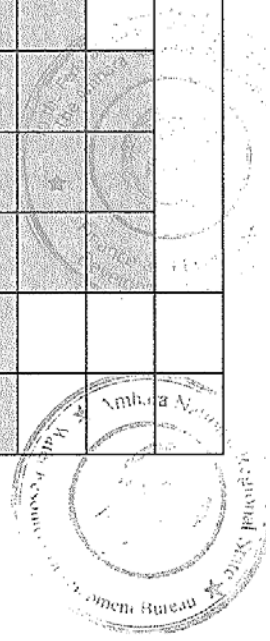
- 5) Undertakings required to the Government of the recipient country
- a) to secure a lot of land necessary for the construction of the Project and to clear the site;
 - b) to provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities outside the site;
 - c) to ensure prompt unloading and customs clearance at ports of disembarkation in the recipient country and internal transportation therein of the products purchased under the Grant Aid;
 - d) to exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts;
 - e) to accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the verified contracts such as facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work;
 - f) to ensure that the facilities constructed and products purchased under the Grant Aid be maintained and used properly and effectively for the Project; and
 - g) to bear all the expenses, other than those covered by the Grant Aid, necessary for the Project.
- 6) "Proper Use"
- The recipient country is required to maintain and use the facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign the necessary staff for operation and maintenance of them as well as to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.
- 7) "Re-export"
- The products purchased under the Grant Aid shall not be re-exported from the recipient country.
- 8) Banking Arrangement (B/A)
- a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account in the name of the Government of the recipient country in an authorized foreign exchange bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the verified contracts.
 - b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an Authorization to Pay issued by the Government of recipient country or its designated authority.
- 9) Authorization to Pay (A/P)
- The Government of the recipient country should bear an advising commission of an Authorization to Pay and payment commission to the Bank.



FLOW CHART OF JAPAN'S GRANT AID PROCEDURES



Handwritten signatures and initials.



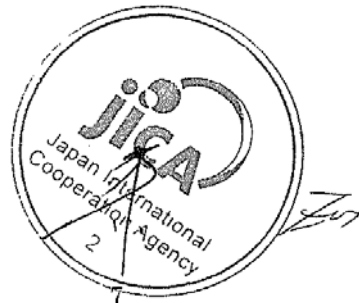
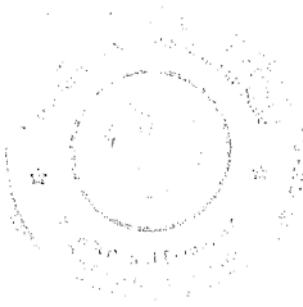
Annex-4

Major Undertakings to be taken by Each Government (Construction)

No.	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient Side
1	to secure [a lot] /[lots] of land necessary for the implementation of the Project and to clear the [site]/[sites];		•
2	To ensure prompt unloading and customs clearance of the products at ports of disembarkation in the recipient country and to assist internal transportation of the products		
	1) Marine (Air) transportation of the Products from Japan to the recipient country	•	
	2) Tax exemption and custom clearance of the Products at the port of disembarkation		•
	3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	•	
3	To ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the purchase of the products and the services be exempted		•
4	To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work		•
5	To ensure that [the Facilities and the products]/[the Facilities]/ [the products] be maintained and used properly and effectively for the implementation of the Project		•
6	To bear all the expenses, other than those covered by the Grant, necessary for the implementation of the Project. ※1		•
7	To bear the following commissions paid to the Japanese bank for banking services based upon the B/A		
	1) Advising commission of A/P		•
	2) Payment commission		•
8	To give due environmental and social consideration in the implementation of the Project.		•

(B/A: Banking Arrangement, A/P: Authorization to pay)

※1 Details are specified in the article 12 of Minutes of Discussion.



(2) 討議議事録 (2012年2月17日)

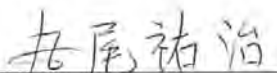
MINUTES OF DISCUSSIONS
ON THE SECOND PREPARATORY SURVEY
ON THE PROJECT FOR SMALL TOWN WATER SUPPLY
IN SOUTHERN PART OF THE AMHARA REGIONAL STATE
IN THE FEDERAL DEMOCRATIC REPUBLIC OF ETHIOPIA
(Additional Survey)

From September 2011 to February 2012, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched the Second Preparatory Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") on the Project for Small Town Water Supply in Southern Part of the Amhara Regional State (hereinafter referred to as "the Project") to Ethiopia. The Team carried out field survey which include 20 test well drillings at 11 target towns.


After having the result of the initial test well drillings, JICA decided to send Dr. Yuji MARUO to Ethiopia in order to consult with the Government of Ethiopia on some additional target towns at which the Team will conducts supplemental field survey including with some more test well drillings, from February 13rd to February 21st 2012.

The Team, with Dr. Yuji Maruo and Mr. Dereje Yeshaneh made reconnaissance site visit at 7 (seven) candidate towns out of 8 (eight) candidate sites proposed by Ethiopian side for additional target towns (see attached map). After discussion both sides agreed that Bikolo and Amanuel were selected for additional target towns at which the Team will carry out at most three test well drillings at respective town together with other survey items as geophysical exploration, land survey and socio-economic survey.

Bahir Dar, February 17th, 2012



Dr. Yuji MARUO
Leader
Second Preparatory Survey Team
Japan International Cooperation Agency

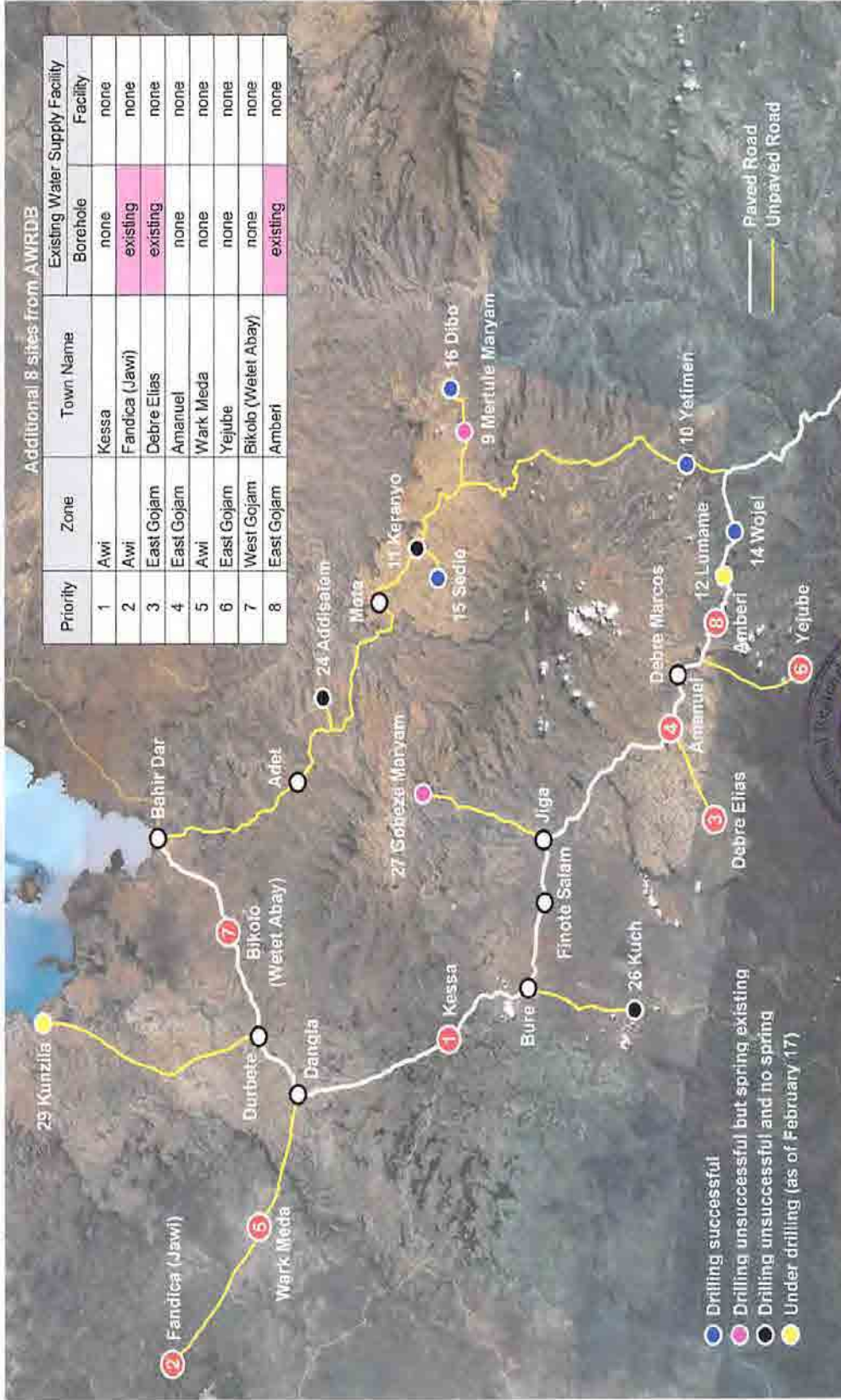


Mr. Zemene Tsehay Bogale
Deputy Bureau Head
Bureau of Water Resource Development
Amhara Regional State.
Federal Democratic Republic of Ethiopia



Additional 8 sites from AWRDB

Priority	Zone	Town Name	Existing Water Supply Facility	
			Borehole	Facility
1	Awi	Kessa	none	none
2	Awi	Fandica (Jawi)	existing	none
3	East Gojam	Debre Elias	existing	none
4	East Gojam	Amanuel	none	none
5	Awi	Wark Meda	none	none
6	East Gojam	Yejube	none	none
7	West Gojam	Bikolo (Welet Abay)	none	none
8	East Gojam	Amberl	existing	none



Location Map of the Additional 8 Sites

The Second Preparatory Survey for the Project for Small Town Water Supply in Southern Part of the Amhara Regional State



(3) テクニカルノート (2012年7月10日)

**TECHNICAL NOTES
ON THE SECOND PREPARATORY SURVEY
ON THE PROJECT FOR SMALL TOWN WATER SUPPLY
IN SOUTHERN PART OF THE AMHARA REGIONAL STATE
IN THE FEDERAL DEMOCRATIC REPUBLIC OF ETHIOPIA**

Based on the Minutes of Discussions signed on the 18th day of October 2011 and the 17th day of February 2012 between the Second Preparatory Survey Team (hereinafter referred to as “the Team”) of Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and Bureau of Water Resource Development, Amhara Regional State (hereinafter referred to as “AWRDB”) on The Project for Small Town Water Supply in Southern Part of the Amhara Regional State (hereinafter referred to as “the Project”), the consultant members of the Team had a series of discussions and conducted field surveys from the 20th day of September 2011 to the 10th day of July 2012.

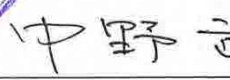
As a result of the discussions and the surveys, AWRDB and the Team (hereinafter referred to as “both sides”) confirmed the technical conditions described in the attached sheets.

The detail of the contents of the Project shall be decided upon further surveys and discussion between both sides.

Bahir Dar, July 10, 2012




Zemene Tsehay
Deputy Bureau Head
Mr. Zemene Tsehay Bogale
Deputy Bureau Head
Bureau of Water Resource Development,
Amhara Regional State
Federal Democratic Republic of Ethiopia


Takeshi NAKANO
Chief Consultant
Preparatory Survey Team
Kokusai Kogyo Co., Ltd.
Japan

ATTACHMENT

1. GENERAL

Both sides have agreed and confirmed the following items:

1-1 Candidate Sites

The thirteen (13) candidate sites shown below will be adopted.

Table 1: Name of Candidate Sites

ID	Zone	Woreda	Town
9	East Gojam	Enebsie Sar Midir	Mertule Maryam
10		Enemay	Yetimen
11		Hulet Egu Enesie	Keranyo
12		Awabel	Lumame
14		Awabel	Wojel
15		Hulet Egu Enesie	Sedie
16		Enebsie Sar Midir	Dibo
-		Machakel	Amanuel
24	West Gojam	Gonji Kollala	Addisalem
26		Bure	Kuch
27		Quarit	Gobeze Maryam
29		Semen Achefer	Kunzila
-		Macha	Bikolo

1-2 Population and Growth Rate

The population in 2012, and estimate for 2016 of the candidate sites, as shown below, will be adopted.

Table 2: Population (2012 and 2016)

ID	Town	Population (2012)	Annual growth rate	Population (2016)
9	Mertule Maryam	15,124	4.2%	17,829
10	Yetimen	3,289		3,877
11	Keranyo	2,101		2,477
12	Lumame	11,410		13,451
14	Wojel	3,188		3,758
15	Sedie	3,348		3,947
16	Dibo	2,129		2,510
-	Amanuel	10,768		12,694
24	Addisalem	5,247		6,186
26	Kuch	6,865		8,093
27	Gobeze Maryam	5,860		6,908
29	Kunzila	5,767		6,799
-	Bikolo	4,929		5,811
Total		80,025	-	94,340

The population data of Dibo does not exist; therefore, the population of Dibo has been calculated with average basic household rate (4.2 head/household) after counting the number



21

43

of household from the satellite imagery data by the Team. The calculated population of Dibo in 2012 is 2,129 people.

1-3 Water Supply Basic Unit

Water supply basic unit will be adopted twenty (20) liters per capita per day (20 l/c/d).

1-4 Unit Integration

The units for the Project will be according to SI (International System).

2. RESULT OF THE SURVEYS

Both sides have agreed and confirmed the following items:

2-1 Social Condition Survey

Social condition surveys have been conducted at thirteen (13) sites.

The survey results will be utilized to confirm the willingness to accept new water supply project, and referred to calculate the water fee for operation and maintenance and to consider the organization and system for operation and maintenance for new water supply facilities.

2-2 Topographic Survey

Topographic surveys have been conducted at thirteen (13) sites.

The survey results will be utilized to plan and design the new water supply facilities.

2-3 Geophysical Survey

Geophysical surveys have been conducted at thirteen (13) sites.

The survey results were referred to decide test well drilling points.

2-4 Test Well Drilling

Test well drilling has been conducted at twenty five (25) points at twelve (12) sites except Bikolo, because test well at Bikolo has already been drilled by AWRDB.

The drilling results were that six (6) sites (Yetimen, Lumame, Wojel, Sedie, Dibo and Amanuel) were successful and six (6) sites (Mertule Maryam, Keranyo, Addisalem, Kuch, Gobeze Maryam and Kunzila) were unsuccessful.

The final drilling success rate was 24 % (6 wells of 25 wells).



[Handwritten signature]

[Handwritten signature]

Table 3: Result of Test Well Drilling

ID	Town	1st test well	2nd test well	3rd test well	4th test well
9	Mertule Maryam	Unsuccessful *1	Dry hole		
10	Yetimen	Successful			
11	Keranyo	Dry hole	Unsuccessful *1	Dry hole	
12	Lumame	Dry hole	Unsuccessful *1	Successful	
14	Wojel	Successful			
15	Sedie	Successful			
16	Dibo	Successful			
-	Amanuel	Successful	Dry hole		
24	Addisalem	Dry hole	Dry hole		
26	Kuch	Dry hole	Dry hole	Dry hole	
27	Gobeze Maryam	Dry hole	Dry hole		
29	Kunzila	Unsuccessful *2	Unsuccessful *1	Dry hole	Dry hole
-	Bikolo	Successful (Conducted by AWRDB)			

*1 Not sufficient yield

*2 Not sufficient water quality

Table 4: Result of Pumping Test

ID	Town	Quantity (L/sec.)	Water source
10	Yetimen	8.70	Groundwater
12	Lumame	8.86	Groundwater
14	Wojel	7.80	Groundwater
15	Sedie	8.90	Groundwater
16	Dibo	8.90	Groundwater
-	Amanuel	3.00	Groundwater

2-5 Existing Water Source Survey

Existing water source survey has been conducted at six (6) sites (Mertule Maryam, Keranyo, Addisalem, Kuch, Gobeze Maryam and Kunzila) to detect alternative water sources.

Two (2) sites (Mertule Maryam and Gobeze Maryam) have existing spring source with sufficient water quantity for planning of water supply facility scheme, however four (4) sites (Keranyo, Addisalem, Kuch and Kunzila) have no existing water source.

Table 5: Result of Existing Water Source Survey

ID	Town	Quantity (L/sec.)	Water source
9	Mertule Maryam	11.42	Spring
27	Gobeze Maryam	3.96	Spring

2-6 Water Quality Analysis

Water quality analysis has been conducted seventeen (17) points, eight (8) test drilling points, three (3) existing wells (Keranyo and Lumame) and six (6) spring source points (Mertule Maryam and Gobeze Maryam).

The value of Nitrate of first test well at Kunzila exceeds Ethiopian water quality standards; therefore, this drilling point at Kunzila was evaluated as unsuccessful for production well.

2-7 Water Supply Facility Plan

Based on test well drilling and water quality analysis, seven (7) sites (Yetimen, Lumame, Wojel, Sedie, Dibo, Amanuel and Bikolo) will be planned for water supply facility scheme by groundwater.

Based on existing water source survey and water quality analysis, a water supply facility schemes by spring water collection will be planned at two (2) sites (Mertule Maryam and Gobeze Maryam).

However, four (4) sites (Keranyo, Addisalem, Kuch and Kunzila) have been excluded from the Project because of no water source was found.

Table 6: Plan of Water Source for New Facilities

ID	Town	Groundwater	Spring source	Water source
9	Mertule Maryam	None	Existing	Spring
10	Yetimen	Existing	-	Groundwater
11	Keranyo	None	None	Excluded
12	Lumame	Existing	-	Groundwater
14	Wojel	Existing	-	Groundwater
15	Sedie	Existing	-	Groundwater
16	Dibo	Existing	-	Groundwater
-	Amanuel	Existing	-	Groundwater
24	Addisalem	None	None	Excluded
26	Kuch	None	None	Excluded
27	Gobeze Maryam	None	Existing	Spring
29	Kunzila	None	None	Excluded
-	Bikolo	Existing	-	Groundwater

2-8 Environmental Impact Assessment (EIA)

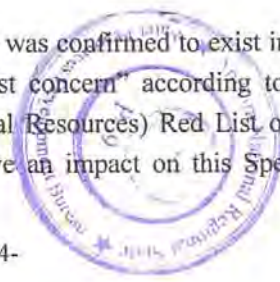
Initial Environmental Examination (IEE) requires no action according to Amhara Environmental Impact Assessment (EIA) guideline, because the water supply quantity by new facilities will be planned less than 500 m³/day. As the comprehensive result of evaluation, as shown in EIA guideline, there will be very low level of negative environmental impact caused by the construction, operation and maintenance of the water supply facilities in the Project.

(1) Social Environmental Condition

In four (4) sites (Sedie, Dibo, Gobeze Maryam and Bikolo), the distribution reservoir will be planned in public land. Therefore, the problem of land acquisition is not expected to occur. In the other sites, there is no negative impact, because new facilities will be planned within the land of existing facilities.

(2) Natural Environmental Condition

The bird family Ardeidae (Ciconia Ciconia) was confirmed to exist in Kuch. However, this species is categorized as the criteria of "least concern" according to IUCN (International Union for Conservation of Nature and Natural Resources) Red List of Threatened Species. Moreover, the Project is not expected to have an impact on this Species. Therefore, there



[Handwritten signature]

[Handwritten signature]

would be no negative impact on the ecology and biodiversity.

3. FUTURE SCHEDULE

Both sides have agreed and confirmed that the survey results would be used for analysis in Japan, and then the Team will make Project designs and estimate Project cost. Then the result of plan and cost estimation for the Project will be reported and explained by the Team on October 2012.



EA

中
野

(4) 討議議事録 (2012年11月7日)

Minutes of Discussions
on
The Preparatory Survey
for
The Project for Small Town Water Supply
in Southern Part of the Amhara Regional State
in the Federal Democratic Republic of Ethiopia
(Explanation on Draft Report)

In October 2011, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched a Preparatory Survey Team on the Project for Small Town Water Supply in Southern Part of the Amhara Regional State (hereinafter referred to as "the Project") to the Federal Democratic Republic of Ethiopia (hereinafter referred to as "Ethiopia") and through discussion, field survey, and technical examination of the results in Japan, JICA prepared a draft report of the study.

JICA dispatched to Ethiopia the Draft Report Explanation Team (hereinafter referred to as "the Team"), which was headed by Dr. Yuji MARUO, Senior Advisor of JICA, from November 5th-8th, 2012 to consult the Ethiopia authorities on the components of the draft report.

As a result of discussions, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

Bahir Dar, November 7th, 2012

片尾祐治

Dr. Yuji MARUO
Leader
Preparatory Survey Team
Japan International Cooperation Agency



Mf. Getachew Jember
Bureau Head
Bureau of Water Resource Development,
Amhara Regional State,
Federal Democratic Republic of Ethiopia



Mr. Mesfin G/medhin Birru
Deputy Bureau Head
Bureau of Finance and Economic
Development, Amhara Regional State,
Federal Democratic Republic of Ethiopia



ATTACHMENT

1. Components of the Draft Report

The Ethiopia side agreed and accepted in principle the components of the draft outline design explained by the Team.

2. Japan's Grant Aid scheme

The Ethiopia side understood the scheme of Japan's Grant Aid and would take the necessary measures and allocate necessary budget timely for smooth implementation of the Project, as a condition for the Japanese Grant Aid to be implemented. The Grant Aid Scheme and necessary measures were described in the Annex 3, and 4 of the Minutes of Discussions signed by both sides on October 18th, 2011 (hereinafter referred to as "the previous minute").

Both sides confirmed that the dispatch of the Team is not necessarily a commitment of the Project to be implemented and that the scope of the Project would be examined further by the Government of Japan for its approval as a Grant Aid.

3. Selected Sites

9 towns which are shown in the Annex-3 were selected as the project sites based on the result of the preparatory surveys and analysis in Japan.

9 selected sites are shown below.

East Gojam Zone (7): Mertule Maryam, Yetimen, Lumame, Wojel, Sedie, Dibo, Amanuel

West Gojam Zone (2): Gobeze Maryam, Bikolo

4. Responsible and Implementing Organization

4-1 The Responsible and Implementing Agency is the Amhara Water Resources Development Bureau (hereinafter referred to as "AWRDB").

4-2 The Organization chart of the implementing agency is shown as Annex-4.

5. Schedule of the Study

JICA will complete the final report in accordance with the confirmed items and send it to Ethiopia by the end of December, 2012.

6. Other Relevant Issues

6-1 Components of the Project

The project sites and components of the project are shown in Annex-1 and 2.

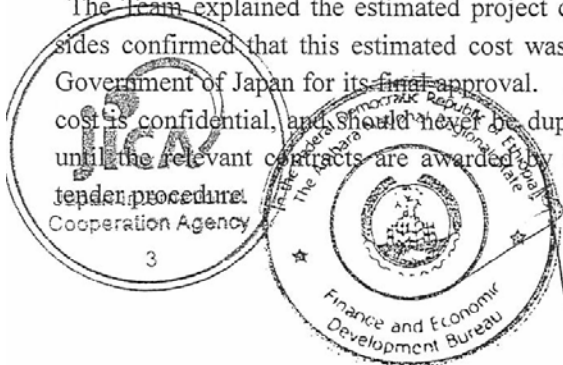
6-2 Project Cost Estimate

The Team explained the estimated project cost to the Ethiopia side as shown in Annex-5. Both sides confirmed that this estimated cost was provisional and would be examined further by the Government of Japan for its final approval. Furthermore, both sides confirmed that this estimated cost is confidential, and should never be duplicated in any forms or released to any other parties until the relevant contracts are awarded by the executing agency, in order to secure fairness of tender procedure.

Cooperation Agency

3

- 1 -



6-3 Securing Project sites

Both sides agreed that the Ethiopia side takes necessary measure for securing the project sites until commencement of the Project.

6-4 Technical Assistance

Both sides agreed that technical assistance by Japanese consultants will be carried out in order to strengthen the capacity of Water Management Organization (WMO) and Woreda water office in terms of O&M of water supply facilities during the implementation period. The contents of technical assistance is shown in Annex-2.

6-5 Undertakings by the Ethiopia Side

(1) Allocation of Necessary Budget

The Ethiopia side agreed that it would allocate the necessary amount of budget timely (Annex-5) for smooth implementation of the Project, and would assign counterpart personnel by its own expense to the Japanese consultants during the implementation of the Project.

(2) Tax Exemption and Custom Clearance

Both sides confirmed that the Ethiopia side shall take necessary measures to exempt Japanese nationals who will be engaged in the Project from all duties and related fiscal charges which may be imposed in Ethiopia with respect to local procurement under the verified contract.

Both sides also confirmed that the Ethiopia side shall take necessary measures to implement smooth custom clearance for the materials and equipment for the Project to be imported from Japan or third countries.

(3) Environmental Impact Assessment (EIA)

As the result of evaluation conducted by the JICA Survey Team on the environmental condition of the project sites, there would be negligible environmental and social impacts from the Project according to the criteria of the Environmental Impact Assessment Procedural Guideline in Amhara regional state. The Ethiopia side also assured it.

(4) Protection of Test Boreholes

The Ethiopia side agreed that the test boreholes drilled in the survey shall be protected safely by the Ethiopia side until the commencement of the Project.

(5) Land use permission

Both sides confirmed that the entire land in Ethiopia is government owned under Ethiopian law, so that there is no obstacle in acquiring the land for construction of public faucets; reservoir tanks, generator houses, the collection chamber etc. Those construction sites have already been confirmed by the respective WMO and local beneficiaries as well. However the Ethiopia side agreed and promised to submit an official letter regarding the securance of the land for the construction sites to JICA Ethiopia Office by November 30th, 2012 in order to avoid any possible trouble during the implementation period.



[Handwritten signature]

